

平成 18 年度短期大学部環境緑地学科緑化企業実習 実習報告書

短期大学部・環境緑地学科

実習先 埼玉県環境検査研究協会

実習期間 2月5日～2月9日

実習内容

- 2月5日 川の水質調査
- 2月6日 川の流量測定
- 2月7日 荒川ゴミ調査
- 2月8日 地下水調査 有害大気汚染物分析 ダイオキシン調査
- 2月9日 PCB点検サンプリング 浄化槽サンプリング 下水サンプリング

実習効果・感想

5日間が本当に短く感じました。毎日が新しい発見の連続で学校には学ぶことのできない経験がたくさんたくさんできたと思います。

今回の実習でまず重要だと思ったことは、やり方を素早く覚えてそれぞれの現場に慣れていくことが重要だと思いました。単純に河川の水を採取するだけでも様々な方法があり、それを保存する容器も目的別に幾つもあることが分かりました。目的別に何を重要視するのかが違い、その目的を素早く理解して作業を効率的に進めることが最も重要であったと思います。

実習は河川水のサンプリング、大気のモニタリング、データ入力、荒川のゴミ調査、河川の流速調査、大気中の有害物質の計測が主な内容です。どの実習にも共通していたのは正確なデータの計測・記録でした。サンプリングしたものはその後試薬で調べられたり機械にかけられたりして計測されて数値として記録されます。このとき例えば水中の酸素濃度を測ることが目的だった場合、採取した容器に空気が入っていたらその空気に含まれている酸素が測定結果に大きく影響する可能性があります。

このように調査目的にあった採取法がもっとも必要であり、そのときに応じた行動と判断力であると思いました。そのことがこの実習のなかで学べたという事が最大の成果だったと思います。



2月9日 理化学研究所にて有害大気分析業務